

《2021年度 ICD 日本部会・年末集会特別講演》

タオ・リズム ～運命好転のためのニューメソッド～



株式会社oneスマイル 代表取締役

福田 純子

●抄 録●

世界的パンデミックとなったコロナ以来様々な意識転換が始まっています。固定、分担、衝突を生む“ism”の時代から、共振、共鳴、共奏を楽しむ“rhythm”の時代へ。

新たな価値観が求められ、一人一人にも、新たな生き方や世界観が求められています。そこでコロナ禍をウルトラCに次元突破するタオ・リズム「意識のあり方」をお伝えします。

キーワード：人は笑顔の数だけ進化する

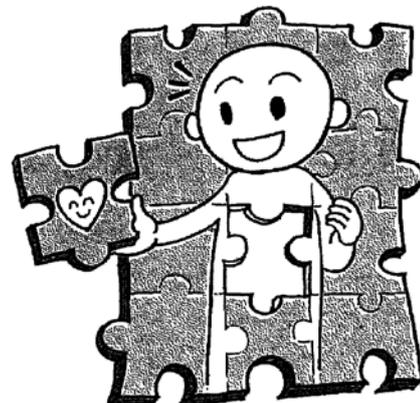
「我あるが故に我あり」

デカルトのこの言葉は何を意味しているのでしょうか。「我」とはいったいなに？と問われてあなたは即座に答えられますか？

誰もが「我は創造主である」と答える時代がやってきました。では「誰もが創造主」とはいったいどんな意味なのでしょう？

例えば創造主と言うジグソーパズルがあるとすれば、どれ一つとっても同じ形はありませんね。「我があってもならずなくてもならず」どれも大切な一片です。もしもその一片が「それは自我だから」と自分の存在を否定すれば、その一片が埋まらないだけでジグソーパズルは完成しません。私だけが特別の存在ではなく、それぞれ固有の形を持ちながら創造主というジグソーパズルの中の尊いワンピースなのです。自分軸を立てるとは全ての人が創造主の一片であり一細胞なのだと思覚めている姿です。一人ひとりの意識の高さと深さと広さで魂のスタミナをつけて生き抜く智慧は笑顔の中にあります。

私達はこの世に自らがシナリオを書いてまで体験するために生まれてきました。生年月日はニュートリノが自分の細胞をどのように通過しているかということを書き残す重要な情報です。しかし生まれた矢先に自分の設計図を忘れてしまうのです。それを私は「封印された自己申告書」としてお伝えしています。自分を知り自分軸を立てて生きることが「風の時代」の生き方なのです。魂にスタミナを付けて大難を小難に、小難を無難に変えて新時代を笑顔で創造して行きましょう。



「地の時代」から「風の時代」への変化を弓道に例えると、地の時代は立ち位置があり的が定められて中心を射る時代でした。やがてその的がズレたり動いたりし始めたため、自分をゼロ化して宇宙意識を知らなければ当たらなくなっていきました。さらに風の時代になると立ち位置さえも無く、それでも命中させる力が必要とされ始めたのです。つまりその姿を例えるならばふわふわと羽を付けて飛びながら相手の心に命中させる天使（キューピッド）のあり方に大きなヒントがあります。その特徴は「純真無垢な心」と「ご機嫌な笑顔」。明るいのが良くて暗いのは悪いといった善悪二元世界を超えて暗いといえども「お日様の音と書

かれている文字の中には、横と下にお日様が寄り添いながら早く立ち上がりなさいと全面応援している有り難い文字」そんな善明の見方をする心こそ、これからの意識の在り方と言えるでしょう。

笑顔があれば自分が変わる。

笑顔があれば相手が変わる。

笑顔があれば運命が変わる。

白い歯を輝かせてあなたらしくニッコリ笑顔で新時代を切り開いていきましょう。